

白門40年会 幹事各位

令和7年9月12日

令和7年 第5回幹事会・機構検討会議事録

開催日時：令和7年9月12日（金）午後4時～6時

場所：駿河台キャンパス学会会議室①

出席者：大泉清、古谷泰久、新井嘉昭、佐々木幸男、中田久尚、武村宏一郎、西山勝凱、山田尚範、関紘一、萩野太郎、小林明子、尾上宏、川島洋子

（計 13人）

司会 古谷泰久事務局長

会長挨拶 白門40年会は今年4月に開催された創立30周年・卒業60周年の「記念総会」を無事に終わりました。本日は幹事会を兼ねて、これからの40年会の運営方針を見直す検討会を開きたいと思います。新井嘉昭検討委員会委員長に資料作成をお願いしてありますので、お手元に配布されている資料を基に皆さんの忌憚のない意見をお願いしたい。

議題

○新井嘉昭氏から、「今までの実績に拘らずに、なおかつ同期の絆をくずさず、40年会の今までの特性を失わずに、身の丈にあった会として存続するための思いきった改革を行いたい」との趣旨説明。これを受けて、人事面、財政面、行事・活動面の3点に分けて討論がなされた。

<人事面>

(1)現在の会員は284名、このうち年会費（3000円）の納入者は130人。コアな会員が中心となり1人でも2人でもいいから会員を増やしていく。会員への通知は原則、会費納入者に限る。会員、役員の数は今行通りとする。事務局長は引き続き古谷泰久氏にお願いする。

<財政面>

財政面 (1)令和7年9月末までの預貯金残高は三井住友銀行に27万1061円、ゆうちょ銀行に5万6020円の合計32万7040円、このほかに記念総会向けの特別会計として50万4864円がある。未払金（未清算金）として26万6030円（新井嘉昭分21万5042円、大泉清分5万0988円）が残っている。

(2)この特別会計の内25万円を名目を付けて本会計に移したい、との提案。これに対して小林明子氏から「記念総会は終わったのだから、特別会計は全額、本会計に移すのが筋では？」との意見が出された。新井嘉昭氏から「筋論としては正論だが、未払金清算や今後の40年

会運営のため」という名目で約半分を特別会計として残したいとの説明があった。小林氏から「準備金として残したら？」との意見。新井氏から「準備金としては額が多すぎる」との説明。出席者からいろいろな意見が出た。「新井案に賛成したい」との意見が多く、結論として25万円は本会計に入れる、残額は特別会計として残すとした。

(3)郵送料の負担軽減。郵送物（会報、総会資料など）のコンパクト化、会員への案内は定型（110円）とする。

<行事・活動面>

- 総会・懇親会の規模を大幅に変える。総会は令和8年4月18日（土）駿河台キャンパス18階の会議室①と②、懇親会は19階のグドビューダイニングを予定。貸し切りではないで校歌や余興はなし。参加費は5000円
- 総会準備委員会（古谷事務局長、中田 久尚氏、西山勝凱氏の3人）作り、詳細（設営や式次第など）はこの委員会で決める。
- 参加者 会員30人、来賓は大学関係者、年次支部会長（来年は6人程度にする）など約8名 合計 38名の予定

○公式行事は、総会・懇親会。暑気払い。忘年会の3つとする。

○有志企画イベント

西山氏から秋の一泊旅行{奥秩父のパワースポト三峯神社参拝と宿坊に泊まり} 費用3万円の説明

山田氏から恒例のみかん狩りを11月30日に実施

大泉会長から歌で親睦を深めるカラオケ大会を開きたい。

<会報について>

会報は全国の会員と40年会を繋ぎ、40年会のロマンを全国の会員に伝えるもの。ページ数や版型は変え、40年会の特性を発信していきたい。従来の会報のイメージ、コンセプトを崩さず、総会写真、各行事の写真、近況報告、寄稿文、名刺広告、企業広告などを掲載。8ページの折りたたみ式では貧弱。過去の会報の半分くらいのページ数にして、制作費は30万円程度に押さえる。

最後に

○中央大学商議員候補として今年10月で任期満了になる佐々木幸男氏の再任（任期は4年間）を承認。

○第6会幹事会は令和7年11月21日午後4時から。駿河台キャンパス学員会会議室①

以上 令和7年9月12日 議事録作成 中田久尚

